

週報

【2022/9 第2例会】

例会日：毎週金曜日
 例会場：碧海信用金庫本店3F 安城市御幸本町15-1
 TEL:0566-75-8866 FAX:0566-74-5678
 Email: anjo-rc19580206@katch.ne.jp
 HP: http://www.anjo-rc.org
 ■創立日：S33年1月10日
 ■RI加盟認証日：S33年2月6日

第3111回例会

2022年9月9日(金) 12:30~13:30
 司会者：小野田 真代さん・稲垣 礼子さん
 ソング：「四つのテスト」
 ニコボックス委員会：富岡 里美さん
 ゴルフ部会：成瀬 清二君
 ゲスト及びビジター： 加藤 弘様 功労会員



出席報告者：杏名 一樹君	2022-23年度：RIテーマ
全会員数 54名	「IMAGINE ROTARY」
現在出席義務者数 42名	安城ロータリークラブ会長方針：
本日の出席人数 42名	「チャレンジロータリー、笑顔で学ぼう」
内出席免除者の出席人数	
出席率 83.70%	

- 会長：奥田 法行
- 幹事：市川 護
- クラブ会報：赤木禎行・辻隆士・恒川憲一・成田孝則

■ 会長挨拶

奥田 法行会長

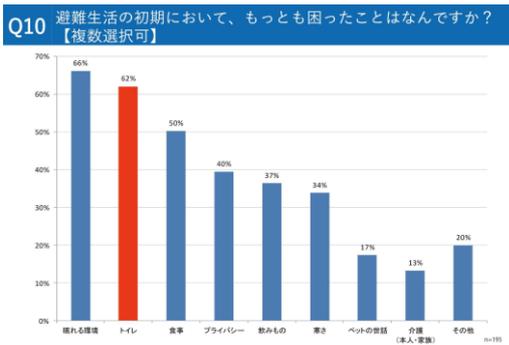
1. 安城RC第1回ゴルフコンペ



2. 危機管理セミナー

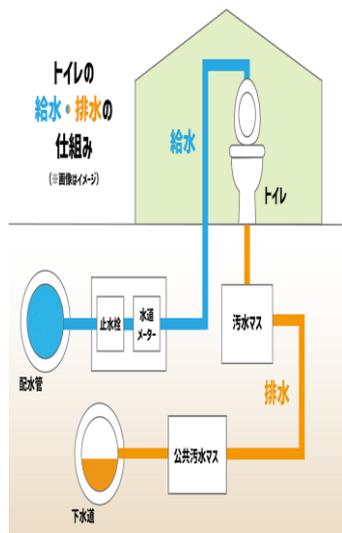


SDGs 8 『トイレがあなたの命を脅す』



みなさんは、『トイレパニック』という言葉をご存じでしょうか？この言葉が生まれたきっかけは、1995年に起きた阪神・淡路大震災。地震の直後、神戸市内の避難所では水洗トイレが使えなくなってしまったために、便器が排泄物で溢ってしまったそうです。災害への備えというと「食料・飲料の備蓄」や「避難所の確認」が真っ先に思い浮かびますが『トイレ』の対応も忘れてはいけません。左の図は避難生活の初期において、もっとも困ったことのアンケートです。眠れる環境の次に、トイレが使えなくて困ったと回答があります。

災害時に水洗トイレが弱いワケ



どうして地震などの災害が起きると、トイレが使えなくなってしまうのでしょうか。

普段自分がトイレで用を足す時のことを思い出してみてください。当然受け止める『便器』がありますよね。でもそれだけでは排泄物を洗いながせません。「給水設備」と「排水設備」も必要ですし、それらを稼働させる「電力」も欠かせないものです。その他にも、建物から排水された汚水は「下水道」を通り「下水処理場」に流れていきます。そして、処理されて綺麗になった水は海や川に戻っていく。このように水洗トイレはすべてがつながって初めて機能する「システム」といえます。設備のどれ一つが欠けても使えなくなってしまうのです。地震発生から3時間以内に約4割の人がトイレに行きたくなると答えています。安全な場所に避難して、家族や友人との安否確認をしていたら3時間というタイムリミットはすぐにやってきてしまいます。トイレ問題が起こるスピードは速いんです。

災害時にトイレ問題は、命にも関わる



不衛生な状況が発生すると、どんな問題が起こるのでしょうか。一つ目は感染症です。排泄物の中には感染の強い菌やウイルスが含まれている可能性があります。衛生状態が悪化すると、そういった菌が手を介してヒトからヒトへ感染します。トイレという場所は、不特定多数の人が同じ個所を触りますよね、ドアノブ、鍵、洗浄レバー、ペーパーホルダー・・・等の個所から感染リスクが高まってしまいます。二つ目は、水不足による健康被害です。トイレが不便になったり不衛生になったりすると、多くの人がトイレに行かなくて済むように水分を控える傾向があります。そうして状況が続くと脱水症状やエコノミークラス症候群となり、命を落とす危険性もあります。災害時でも安心して使えるトイレをみなさん用意しましょう。

イタリアでは災害時にコンテナ型トイレカーが活躍しています



イタリアでは、災害時にコンテナ型トイレカーが配置されるそうです。安城市では災害時に使用できる仮設トイレが設置されます。市内の公園・公共施設の屋外に、マンホールのふたを外して便器トイレ室を取付して、排泄物を下水道に直接流すことのできる「マンホールトイレ」が整備されています。

皆さん、ご安心ください。

■ 幹事報告

市川 護幹事

1. 先週の「青森県大雨災害義捐金」は、31,500円集まりました。ご協力のありがとうございました。
2. 地区大会登録料・晩餐会登録料を集金いたします。(登録料 ¥12,000/晩餐会 ¥20,000)
3. 第2回クラブアッセンブリー及び懇談会の案内を関係会員へ配布いたしました。
4. ゴルフ部会より 9/7 第1回安城RCゴルフコンペ優勝は永井慎悟君でした。おめでとうございます！

【本日のセレモニー】

ロータリー財団寄附、ポール・ハリス・フェロー/マルチプルポール・ハリス・フェローの認証状・バッジ授与
・マルチプルポール・ハリス・フェロー(+2/\$3,000以上) 細井英治君・永谷文人君・石川 博君
・マルチプルポール・ハリス・フェロー(+1/\$2,000以上)
丸山光夫君・加賀昭成君・成瀬介宣君・山口佳久君・清水正幸君・寺部 暁君・神谷明文君
小野内宣行君・富岡里美さん・石川義典君・鳥居博行君・横山真喜男君・奥田法行君・寺田孝司君
戸谷 央君・深津正則君
・ポール・ハリス・フェロー 大坪久乃さん 原 敏城君



◆ クラブフォーラム

ロータリー情報委員会

「イニシエーションスピーチ」

柴田勝久君 岡田健裕君 前沢宏允君



柴田勝久と申します。

4月に伝統と格式のある安城ロータリークラブに入会させていただき、5か月が経過しました。本日は私の生い立ちをお話させていただきます。

住まいは愛知県尾張旭市です。家内の実家です。私は俗に言う「ますおさん」です。家族は妻と長女、次女、妻の両親です。私の父は既に他界しており、大垣の実家には母が一人住んでおります。兄妹は妹がおります。高山市に嫁いでいます。

私は1967年(昭和42年)5月8日に両親の故郷である滋賀県長浜市で出生しました。その後父の仕事の関係で大垣市に移り、38年間大垣市で住んでおりました。

私が育った大垣市の実家はJR大垣駅から北東に位置し、周りは田んぼに囲まれた静かな田園地帯です。田植えの時期から夏場は夜になるとカエルの合唱が聞こえてきます。秋になるとコオロギの鳴き声が聞こえてきます。水の張った田んぼにはカブトエビ、水カマキリ、ゲンゴロウがいました。水路にはフナ、メダカ、ザリガニなど生き物の宝庫でした。大垣は水の都と言われ、あちこちで自噴水が湧いていました。今でも神社などに自噴水が残っています。通学路の田んぼ中にも井戸があり、夏の暑い日は地下から湧きあがった水を友達と飲んだ記憶があります。大垣の花はレンゲです。春になると田んぼは一面にレンゲ畑になります。私はこの田んぼの中を走りまわっていました。

幼少期は虚弱体質で病気がちでした。体格も現在とは正反対のガリガリ(ゴボウのよう)でした。特に胃腸が弱く、運動会、遠足、家族旅行などの大きなイベントがあると体調を崩していました。また、人見知りが激しく、大人しい性格でした。

小学校3年生から5年生まで少年野球をやっていました。恐らく母親が虚弱体質な私に体力、根性、度胸をつけさせるために入団させたのだと思います。5年生の頃から体力もつき、病気も少なくなってきました。しかし、そのころから、練習をさぼるようになりレギュラーもはく奪されました。結局6年生になる前に野球をやめてしまいました。小学校5年生から6年生までは鼓笛隊でトロンボーンを演奏しました。音楽の才能は一切ないのですが、背が高いというだけで当時の担任から強制的に任命されました。当時は私には根気がなく、よく練習をさぼり、担任、母親に叱られていました。小学校時代は色々やってきましたが、何事にも根気がなく、続きませんでした。

1980年(昭和55年)中学に入学。今では考えられませんが男子は頭を丸め五分刈りにしました。身長も高くなり170センチはあったと思います。部活動はバスケット部に所属しましたが、多感な年ごろであり、すぐにやめてしまいました。しかし、中学3年間はクラスの友達と遊んだり、勉強したりして楽しい中学生を送りましたが、自宅と学校を往復する毎日がつまらなくなり、高校生になったら何か部活動をしたいなど漠然と思っていました。中学3年のとき、富田靖子さん主演の「アイコ十六歳」という映画を観て「これだ!」と思いました。

1983年(昭和58年)高校に入学しました。部活は弓道部に入部しました。勉強のほうはいえ、高校二年生の一学期までは真面目に勉強も頑張りました。ところが、どれだけ勉強しても成績は伸びず高校二年の途中で挫折しました。勉強はほどほどで友人と遊びまわりました。日曜日に岐阜駅そばの予備校に行っていました。さぼって柳瀬のゲームセンターで遊んでいました。

1986年(昭和61年)名古屋市内の大学に入学しました。大学では勉強をやった記憶がほとんどありません。部活は高校から始めた弓道部に入部しました。生まれて初めて自分の居場所を見つけた感じがしました。大学生活の大半は弓道部で過ごしました。3年になると主将を務めました。当時部員は男女合わせて100名いました。主将として部員を束ねること、成績を残すことは当時の自分に相当プレッシャーがかかっていたのですが、周りに支えられて弓道部の運営を行いました。大学3年生で実家を出て大学近くのアパートを借りました。私のアパートには毎日弓道部の同期、先輩、後輩が出入りし大変にぎやかでした。毎日、徹夜で麻雀をしていたことが懐かしいです。

アルバイトは塾の講師、家庭教師、居酒屋、イベントの警備、力仕事などです。一番思い出深いアルバイトはアパート近くのハンバーグ専門レストランで働いたことです。テレビで紹介されるような店で行列ができる店でした。時給500円でしたが、ここで働いた理由は単純に「まかない付」が魅力的だったからです。しかし、16時から22時までの5時間は大変忙しく、厨房での仕事は大変きつかったのですが、世間知らずの私を一から社会の厳しさを教えていただき、いつも私を叱ってくれた当時のオーナーには感謝しかありません。自分の人間形成の原点はこのバイト先と言っても過言ではありません。大学を卒業し、銀行員になってからオーナーに会いに行きました。当時の私の印象を語ってくれました。「世間知らずのこいつは社会に出してはダメだ。」と。その言葉には相当ショックを受けましたが、学生時代の私はダメ人間でした。

大学4年(1989年(平成元年))になると就活を行います。時代はバブル景気に沸いた時代です。超売手市場で、今では信じられませんが自分の実力以上の企業からたくさん声がかかりました。私は金融機関を中心に就活を行い最終的に地方銀行に絞りました。大学4年の8月に就職先も決まり安心したのか、何もやる気が起こらなくなりました。大学は夏休みでしたが、実家に引きこもっていました。何とか体調を回復させ9月から大学に行くようになりました。私は部活に熱中しすぎて卒業までの単位をかなり残していました。大学に入って一番勉強したのが4年生でした。必死で勉強し、何とか卒業できました。

1990年(平成2年)4月大垣共立銀行に入社しました。最初の配属は岐阜市内店舗です。日経平均は前年の1989年12月29日38,915円をピークに下がり始めていましたが、バブル景気はまだ衰えていませんでした。消費意欲も旺盛で、岐阜柳瀬商店街は活気がありました。当時の預金金利は3年定期で年利7%程度でした。

1991年友人の紹介で瀬戸市内の幼稚園で教員をしていた妻と出会います。1993年5月30日妻と結婚しました。1996年長女誕生、1998年次女が誕生しました。

しかし、2003年に妻が病気で長期入院をしました。同時に私の父も病気で入院しました。妻の実家の両親が大垣に来てくれて家事、育児を手伝ってくれました。妻の両親には感謝しかありません。

2005年(愛知万博開催年)、妻の病気をきっかけに妻の実家へ転居を決断しました。転居から17年になりますが、現在、家族共々元気に過ごしております。

最後に、このイニシエーションスピーチの原稿を考えるにあたって自分自身の人生を振り返る良い機会を与えていただいたと思います。

生まれてから55年、大垣共立銀行に入社し32年、人生山あり谷あり色々ありました。振り返ってみると、私は家族や上司、先輩、後輩、お客様、多くの人に支えられて人生を歩んできたと思いました。

これまで出会った全ての方に感謝し、スピーチを締めくくりたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。

自己紹介

自身について

氏名：岡田健裕（たけひろ）
年齢：39歳（今年厄年の猪年）
出身：安城市赤松町
経歴：安城南高校～名城大学卒

1983年 主な出来事



1983年 ワープロが急速に普及



任天堂がファミコンを発売



東京ディズニーランド開園

職歴：大学卒業後は名古屋で衛生設備会社に就職
→3年で退職し、現在の会社に入社
家族：妻、長女⁽¹¹⁾、次女⁽⁸⁾、長男⁽⁰⁾
趣味：バスケットボール
(中学～大学まで部活動、就職後も継続)

家族・趣味



長女：彩優（さゆ） 次女：千瑛（ちえ）
長男：陸攻（りく）



バスケットボール仲間
(現在は観戦メイン)

仕事について

会社名：株式会社ビデオハウス
所在地：安城市赤松町
社歴：1979年3月
父親である岡田次夫（現取締役会長）が脱サラして、結婚式のビデオ撮影で創業。
以降、番組制作、企業PRなど徐々に業務の種類を増やす。

主な業務内容

- ・テレビ番組制作（民放、ケーブル）
- ・企業PR動画制作
- ・学校・幼稚園などの行事記録動画
- ・各種式典の撮影・中継、配信
- ・ブライダル
- ・デジタルサイネージ運営

主なお客様

- 【ケーブルテレビ局】
- ・キャッチネットワーク
- ・ひまわりネットワーク
- ・知多メディアネットワーク
- 【企業・会場】
地元企業様、広告代理店、ホテルなど
- 【学校・幼稚園】
西三河・知多地域でおよそ20件
- 【デジタルサイネージ】
松井整形外科で放映

例えばこんな動画を作っています

- <https://www.youtube.com/watch?v=p-ECYPNyFOs>
- https://www.youtube.com/watch?v=ZgzmbKK5_EY
- https://www.youtube.com/watch?v=v_UoCa6f46A
- <https://www.youtube.com/watch?v=q6rKNwm74rQ>

終わり

お時間をいただき、ありがとうございました。
これからよろしく願っています。

本日はイニシエーションスピーチということで、私個人のことをお話しさせていただきます。

昭和52年2月6日生の45歳、巳年です。「巳年 性格」をインターネットで検索すると、執念深い、プライドが高いなど、一般的には良いイメージを持たれない結果が出てきます。

私自身もそうかと思うところは多々ありますが、物事をよくとらえて言い換えれば、執念深いというのは、努力を惜しまないとか、情熱的という言葉にも言い換えられます。また、プライドが高いというのも、自信を持って行動できるという風にポジティブに考えることとしています。

私が生まれたのは45年前になるのですが、父は新城市、母は宮城県登米市の出身で、現在は岡崎市に住んでいます。新城市には他界した祖父の家があり、社会問題にもなっていますが、空き家として残っています。また、祖父は、新城市と鳳来町にお前が大きくなって家建てる際に使える木を植林してあるからなと口癖のように伝えてくれ、一緒に山に木を見に行ったことも覚えています。

祖父のせつかくの思いも無視して、約14年前ぐらいに鉄骨の家を建ててしまいました。祖父も天国からがっかりしていることでしょう。今でもその木はすくすく成長しており、伐採方法も伐採知識もないまま、ただ森林組合に会費だけ払っています。

母方の実家は宮城県登米市ですごい田舎の出身です。隣の家は見えないほどの田舎です。小さい頃は、東北新幹線もなく、20時間ぐらいかけて祖母の家に行くことは結構な旅行気分でした。母は11人兄弟の8女で最近では、いとこ会というライングループも作られにぎわっていますが、正直わからない人もいます。

学生時代は、普通に部活をおこない、普通に勉強をする特段目立った人間ではなかったと思うが、遊ぶことは昔も今も大好きです。外で友達と夜遅くまで遊びすぎてよく親にははしかられていました。門限があるから、破りたくなくて帰るのがおそくなるのだわと意味不明なことを親に言ったこともあります。

大学生の時には、某大手の塾でアルバイトをさせていただき、小学生中学生に、算数や数学を教え、偉そうに保護者会までやっていました。非常にアルバイトが楽しく、いい仲間たちとたくさん出会え20年以上たった今でも付き合いがあります。先輩たちが学生生活を終え、新聞社や、航空会社、建築会社などに就職をしていられました。ふと、自分もそろそろ就職を考えないといけないなと思ったのですが、これといってやりたいことが見つからず、どうしようと、就職活動を業種問わず、様々な職種の会社の面接を受けました。

自分探しの就職活動になっていたのかもしれませんが。証券会社、宝石会社、銀行、信用金庫、会計事務所などなど。

就職氷河期と言われた時代でしたが、幸いなことに地銀さんや信用金庫さんから内定も頂きました。ただ、どうしても現在勤めさせていただいている税理士法人スマッシュ経営、行政書士法人スマッシュ申請代行などのスマッシュグループの前身である森会計事務所に惹かれて入社させていただきました。

もともと、やりたいことが見つからず見つけるために、様々な経営者とお話をできる会計事務所の門をたたきました。

そこで、最初は相続の部署に配属され、思いとはちがい経営者の方々とはなかなかお話しする機会がないまま数年は経ちましたが、知識を増やすにつれ経営者の事業承継なども携わるようになり、経営者の方々ともお話しする機会が多くなりました。当初の入社動機など忘れてしまうぐらい、知識をつけなければいけなくあつという間に、二十数年がたってしまった次第です。

少しだけ会社の話をさせていただきます。先ほどの森会計事務所が現在のスマッシュグループ(株式会社スマッシュHD)となり、税理士法人、行政書士法人、社労士法人(2022年10月に設立)、株式会社SBC、株式会社スマッシュ不動産で構成されています。

スマッシュ不動産に成田孝則さんに来ていただき大変ご活躍頂いております。そのご縁もあり安城ロータリークラブに入会させていただくことができました。こうやって、また多くの経営者の方とお会いできることを大変うれしく思っております。

プライベートの話にはなりますが、私は27歳で結婚し一人の娘と犬2匹に囲まれ楽しく生活しています。犬も家族ですが、問題は犬も含め全員女性ということです。男女平等といわれる昨今ですが、我が家は女性が強いです。女性が強いほうが円満に行くと感じたこともあるのでそう信じて日々暮らしています。

趣味は高校野球観戦です。きっかけは、取引先の方に甲子園に連れて行ってもらい、甲子園球場を見たとき、入ったときに鳥肌が立ちすごい体が熱くなりそれから毎年欠かさず行くようになってしまいました。私だけかもしれないですが、仕事では慣れてくると全力投球しなくなってしまう瞬間がどうしても出てきてしまいます。そんなとき、甲子園で高校球児の真剣さ、応援団の真剣さから、自分自身の愚かさを見つめなおす機会としています。

甲子園に興味を持つようになり、偶然にもいこの子が甲子園に出場し、その日は甲子園球場のアルプスでいとこ会が始まったのはいい思い出です。

高校生の娘もなぜか甲子園にはまってしまい、今年も春夏と一緒に観戦に行ってきました。

たわいもない話にはなりましたが、私のお話を以上とさせていただきます。